

駿東新聞 第197号 R5, 6月

1年に1度、七夕の夜にだけ会うことのできる織姫と彦星。2人は夏の三角形で結ばれていて、織姫の星座は「ベガ」、彦星の星座は「アルタイル」と名付けられています。この星の寿命は数十億年といわれており、仮に80億年とすると2人は一生のうちに80億回会っていることになるそうです。これを私たち人間の一生に当てはめると…人間の寿命を80年とします。織姫と彦星は一生のうちに80億回会っているので、80年のうち80億回会うには1秒に約3回のペースで会わなければなりません。1年に1度しか会えないという伝説のはずなのに…(笑)

さて今月は理療原PTのお話です。



デイケアについて 理療原

皆さんこんにちは。理学療法士の原祐紀です。

普段私は二階のリハビリ室で仕事をしていますが、半年程前から昼休後三階の通所リハビリテーション駿賀苑(デイケア)で少しの時間仕事をさせてもらっています。今回はデイケアでの仕事内容を報告しようと思います。

デイケアではリハビリの仕事ではなく、基本的には見守りをするという事になっています。そして午後がある日は毎日行かせてもらっている為、次第に仕事のひとつとして月ごとデイケアの壁に利用者様と作った制作物などを展示する手伝いを行っています。何を展示しているのかというと、季節の花やその時期のイベントなどにまつわるものを、画用紙やお花紙、リボンなどを使って作成したものです。

これは利用者様くみんぽと考えてもらって作ります。

4月
したれ桜



5月
こいのぼりと
菖蒲の花



その月の季節の花などはガからはいものもあるので、参考にしているものとして『月刊デイ』や『レクリエ』というデイケアで取り扱っている雑誌を主に使用し、同時に学びながら行っています。今月はこういうものを作ってみたい、いくつか選択肢を作っておき、利用者様に「こういうものを創りましょうか」と聞くと、「こういう風に変えたい」「こんな感じに作ってみたい」と、皆さんからそれぞれ意見が出てきます。それを踏まえて試行錯誤を繰り返して、1ヶ月かけてみんなで作る駿賀苑のオリジナルのものを作るように頑張っています。

これが私のデイケアでの仕事内容です。今までのデイケアでの仕事は木曜日、土曜日の午後に行くリハビリだけで、その時間以外にはほとんど関わりがありませんでしたが、利用者様と意見を交わしつつ同じものを作っていきながら達成感を味わえたりと、今まではいい楽しみを見つけています。今後もいろいろ作りたいと思っているので、少しでも興味を持ちましたらどうぞ三階の通所リハ駿賀苑へ。

6月19日~4特定健診・がん検診スタート!